



第16回学術大会を終えて

大会長 高山 仁

第16回日本音楽療法学会学術大会は、台風の心配から何とか逃れ、9月16日～18日の3日間、仙台国際センターを会場に開催されました。参加者は1550名を超え、研究発表123題、自主シンポジウム11企画を数え、恵まれた大会となりました。参加された皆様方のご理解ご協力に感謝しつつ、ご報告申し上げます。

さて今大会は、「今、ここで」音楽療法における関係性を考えよう～からだ・こころ、他者と「わたし」を見つめて～のテーマのもとに企画されました。文化と文明がせめぎ合い多様化が求められる現代社会に生きる私たちは、「どこを向いて」音楽療法を行うのか、その方向性を探る意味においても「人」と「音楽」の普遍的な関わりを改めて問い直すことができたのではないかと思います。

理事長講演では新体制を迎え、日本におけるこれまでの音楽療法の潮流を確認し、清水哲郎先生の基調講演では、「人それぞれ、皆一緒」と両個性が行き交うなかで「人生と生命」に深く関わっていることを知ることができました。赤坂憲雄先生の教育講演では「寝かせ唄」と「子守り唄」の理解を深め、最終的には唄い手のココロが脈打ち言葉となって口から出るときに、節がつくことで昇華される音楽の芸術的意義を知り、音楽療法において「何故、音楽なのか」の意味に触れたように思います。

大会の特別企画としてお迎えした姜建華先生の「こころ音」コンサート、二本の弦から紡ぎ出される音楽にココロもカラダも震える45分間をいただき、大会に華が添えられました。また、来年の世界大会を前に Amy Clements-Cortes 会長の研究に基づいたご講演において、高齢者領域研究の方向性が示されました。ありがとうございます。

研究発表においては、20分40分枠として活発な討議がなされ、またポスター発表におきましては、総合司会を配置し会場全体が1つの発表の場となるよう実施した結果、盛り上がりのある発表が実現したように思われます。一部、ご好評をいただいておりますが、今後の参考にしていただければ幸いです。査読・座長の任をお引き受けいただきました先生方に

深く御礼申し上げます。

交流会には約400名の参加がありました。殺風景な会場でしたが、交流委員会による精一杯の飾り付けや、閉上太鼓の方々の力強い演奏が彩りを添えてくださいました。チケット制や試飲なども好評を得、大変嬉しく思います。また、託児にはのべ27名の申込みがあり、今後の課題ではないかと思われます。

今大会は大震災後として、皆様方の支援をいただきながらここまで進めてまいりました。仙台の市街地では、災害の痕跡を見ることはできませんが、5年半を過ぎた現在でも沿岸部、福島などでは漸く復興のスタートラインについたという状況です。特に「心の復興」にはまだまだ時が必要ではないかと思われます。そのような中、熊本地震、台風による水害・土砂崩れ、また理不尽な犯罪など現代日本の状況を鑑み、「危機対策と音楽療法」という枠組での検討を宿題としていただいたように思います。今後も「人間と音楽」という普遍な関係性を問い続け深め、音楽療法を必要とする方々のために努力を続けてまいりたいとの思いを新たにいたしました。来年7月、さらに視野を広げ世界の方々と研鑽するために、第15回世界音楽療法大会でお会いいたしましょう。

最後になりましたが、本学術大会を大過なく終えることができましたのは、大会実行委員、ボランティアの皆様、そして本部事務局の方々にお支えいただきましたお陰だと思っております。紙面をお借りしまして、心からお礼を申し上げたいと思います。



新理事長講演

参加登録開始！ 期待膨らむ世界大会！

副実行委員長 今村ゆかり

2016年10月5日から、第15回世界音楽療法大会の参加登録が始まりました。大会期間中、40か国以上から2000人を超える参加者が見込まれています。大会スケジュールや参加登録の詳細は、第一次案内（次頁）もしくは、世界大会ホームページをご覧ください。また参加にあたって所属機関に提出される出張派遣依頼等を希望される方は、学会事務局までご一報ください。職員派遣依頼文書をご用意いたします。

大会期間中の発言語は主に英語ですが、「日本にいながらにして世界を感じる」というコンセプトのもと、言語に関わるサポートの準備を進めております。主要プログラムの同時通訳の他に、日英両言語を併記する要旨集を作成することといたしました。スケジュール、会場案内等の日本語表記と共に、大半の発表演題について、タイトル、要旨の日本語翻訳を掲載いたします。聴きたい演題を選んでいただく時のガイドや内容の概略を把握するツールにしていいただければ幸いです。この要旨集の冊子ご希望の方にご購入いただく方式ですので、参加登録時にチェックをしてください（データは参加者に無料でダウンロードいただけます）。

大会に先立って行われますプレセミナー（7月4日）は、通常の学術大会時の講習会に相当する研修プログラムです。それぞれ270分間（90分講習の3コマ分）の8講座のテーマはどれもとても魅力的で、講師陣もそれぞれの分野の第一人者の方たちです。国内ではまだまだ知られていないテーマも取り上げられていて、非常に充実した内容になるのではないかと考えております。こちらも第一次案内もしくは世界大会ホームページで講座内容・定員等を確認し、大いに迷ってから選んでください。なお大会参加と同様に、認定資格に関するポイントの対象になります。学会ホームページの世界大会関連のパナーから詳細をご確認ください。

研究発表の募集は、6月末に締め切りを迎えました。おかげさまで海外も含め600を超える演題のご応募をいただきました。研究発表を通して、様々な国や文化圏の音・音楽・音楽観、コミュニティや生活の中に根付いている音楽、健康観などを知ることと同時に、日本の音楽療法、つまり私たちの日常的な音楽療法について発信していくことができるまたとない機会です。結果の発表まで、今しばらくお待ちください。

世界大会での交流は、研究発表だけではなくありません。連日、日本文化体験プログラムや地元つくば市にご協力いただき医療機器体験ツアー、コンサートなどを予定しております。期間中にはちょうど「七夕」も迎えますので、日本ならではの行事を体感していただくことも企画しております。参加登録時には、文化体験プログラムにも是非注目してください。

第15回世界音楽療法大会は、第17回日本音楽療法学会学術大会に代わるもので、日本の音楽療法界の一つの節目になるイベントです。大会期間中は、日野原重明名誉理事長もご臨席される予定でございます。どうぞ皆様奮ってご参加ください。2017年7月つくばでお会いしましょう！

学生会企画について

世界音楽療法連盟学生会 佐藤 久美

世界大会のサブテーマに“Inspiring the Next Generation（次世代とともに）”とありますように、学生会企画では学生の皆様やこれから経験を積んでいく音楽療法士、または関連職種の方のために企画されたイベントがたくさんあります。トピックスは学生の皆様向けのものが多いのですが、どなたでも参加していただけます。経験を積んだ音楽療法士の方にとっても、とても興味深い内容だと思いますので、皆様どうぞご参加ください。主な内容は、「学生プレセミナー 架け橋：学生から音楽療法士へ」（どなたでも参加費無料）、Suzanne Hanser 先生の特別講義「音楽療法による統合的な健康」、ラウンドテーブル「研究者になるために」、学生会（ASD）による日本の学生へのインタビューなどです。学生プレセミナーのすぐ後には、世界各地の学生と交流する機会となる、ネットワーキングイベントも予定されています。また、学生向けイベントで発表を希望される方は、学生ボスターセッションやランチタイムジャムセッションへご応募ください。応募方法は世界大会ホームページをご覧ください。

第15回 世界音楽療法大会

第一次案内

◆会場 つくば国際会議場（エポカルつくば）

◆会期中スケジュール

	7月4日（火）	7月5日（水）	7月6日（木）	7月7日（金）	7月8日（土）
午前		スポットライトセッション：各日2時間 （複数演者によるリレー講演 日本語同時通訳付き）			
		【発表枠】			
昼食		日本文化体験プログラム・集合写真撮影など			
午後	プレセミナー （通訳付き）	【発表枠】 （口演発表・ポスター発表・ワークショップ・シンポジウムなど）			【発表枠】
					閉会式
夜	開会式	懇親会・イブニングトリップなど文化企画			観光など

◆プレセミナー内容

1. すべてが音楽で始まる—神経学的音楽療法のコンセプトに基づいた臨床的スキルの向上—
2. ワークショップ：伝統的な和太鼓をたたこう！—基本的な技術と音楽療法セッションへの応用—
3. マインドフルネスに基づいた音楽療法と仏教の瞑想—RMT（調整的音楽療法）と禅の対話—
4. 音楽は、音楽療法と日常生活のなかでどのように有益なのか—音楽がマイクロ、メゾ（中間）、マクロのレベルで「どのように」有益かを探る—
5. 小児がん患者とその家族のための音楽療法と緩和ケア
6. 宇佐川理論に基づいた発達障がい児のための音楽療法—日本で発展し体系化されたアプローチ—
7. 初めての音：リズム、呼吸と子守歌を用いた新生児集中治療室（NICU）の音楽療法訓練
8. 学生セミナー—架け橋：学生から音楽療法士へ—

◆スポットライトセッションテーマ

- 7/5 音楽療法と高齢者のウェルビーイング 7/6 音楽療法とトラウマワーク
7/7 音楽療法研究～エビデンスとストーリー～ 7/8 音楽療法における音楽と文化的文脈

◆参加費用

	7月5日～8日 大会全日参加		7月4日 プレセミナー
	早期割引 ～2017/1/31	事前申し込み ～5/31	
正会員	25,000円	29,000円	8,000円
学生（会員以外含む）	11,000円	15,000円	
一般	32,000円	36,000円	

※一日参加（11,000円）も受け付けます。

◆詳細はホームページをご覧ください。 <http://www.wcmt2017.com/>
☆参加申し込みもホームページから！『WCMT2017』で検索できます。

■ 日本音楽療法学会 研修・講習会のご案内 ■

研修・講習委員会

委員長 高山 仁

今年度から当委員会が新体制になり、その委員会で検討の結果、臨床の質を向上させるために「音楽」をさらに体験的に学ぶことを重視して、3年間のテーマを「人と音楽を探求する～音楽療法におけるクリニカルな視点～」と決めました。そこで、まず今年度は楽器を使用した演習ができる東邦音楽大学（埼玉県川越市）へ会場を移し、以下の内容を企画しました。

1日目は「人と人を繋ぐ音・音楽」そして「音楽療法における音楽の『美』」をテーマに、折山もと子先生と私、高山仁が講義・演習を担当します。尚、内容の性格上2会場に分け定員を限定し、より丁寧なアクティブ・ラーニングを旨とします。

2日目午前中の第一講目は、音楽心理学研究の第一人者で音楽知覚認知学会会長の星野悦子先生をお招きし「音楽心理学の現在～音楽療法の基礎科学として～」と題して講義をいただきます。第二講目は『自閉症の現象学』『治療の現象学』など、現象学の立場から臨床現場に対してユニークな考察を発信し続けている村上靖彦先生にご講義をお願いしました。

また午後のプログラムは、当学会から発刊された「倫理ハンドブック」の解説を当学会倫理委員会副委員長の安本義正先生にさせていただきます。最後のプログラムは、日本を代表する劇作家・演出家である平田オリザ先生にワークを交えながらの講演をお願いしました。演劇という人の原点的な表現形態から、音楽療法の現場で起こる「人と人が繋がるためのヒント」をいただけるものと大いに期待しています。

私たちは臨床に携わる中で、音楽療法の素晴らしさや必要性を確信しているからこそ、さらなるチャレンジを課し、成長したいと考えます。多くの会員の方々の参加を心よりお待ちしております。

◎プログラム

2017年2月11日（土・祝） 講義室使用 定員合計250名

受付12:30	A会場	B会場
13:00～13:10	ガイダンス	ガイダンス
13:10～15:10	講義・演習:「人間と音楽の密接な関わり ～人に与える音楽のエネルギーと美の考察～」 折山 もと子 合奏システム研究所、音楽家	講義・演習:「臨床即興、同型性と相補性から考える」 高山 仁 当委員会委員長、たかやま音楽療法研究所
休憩20分		
15:30～17:30	講義・演習:「臨床即興、同型性と相補性から考える」 高山 仁 当委員会委員長、たかやま音楽療法研究所	講義・演習「人間と音楽の密接な関わり ～人に与える音楽のエネルギーと美の考察～」 折山 もと子 合奏システム研究所、音楽家
17:30終了		

2017年2月12日（日） ホール使用 定員600名

受付08:30	
09:10～10:40	講義:「音楽心理学の現在～音楽療法の基礎科学として」 星野 悦子 上野学園大学 特任教授
休憩20分	
11:00～12:30	講義:「現象学的な質的研究の方法と実例」 村上 靖彦 大阪大学大学院人間科学研究科教授
休憩60分	
13:30～13:55	倫理勉強会:「学会発刊『倫理ハンドブック』の概要解説」 安本 義正 日本音楽療法学会倫理委員会副委員長、京都文教短期大学学長
14:00～16:00	講義・演習:「わかりあえないことから」 平田 オリザ 劇作家・演出家、東京藝術大学特任教授、大阪大学客員教授
16:00～	閉会 連絡事項
16:10終了	

*今回の会場は、音楽活動を充実させるため、東邦音楽大学（川越キャンパス）となります。充実した活動が期待できます。東京駅から大宮経由で約60分（乗り換え含まず）ですので、余裕をもってご参集ください。

*都合により一部講師、内容の変更が生じることがあります。ご了承ください。

*ご要望により「土・日曜：各一日参加」と「両日参加」の2種の参加形態を用意します。是非、ご参加ください。

*詳細は改めまして12月にお送りします。

■ 音楽療法推進特別委員会からのご報告 ■

音楽療法推進特別委員会

委員長 藤本 禮子

音楽療法推進特別委員会（以下当委員会）が設立されて2年半になります。

当委員会は、「音楽療法の普及・啓発活動」と「音楽療法士の質の向上」の2本を柱として活動してまいりました。今回は、「音楽療法士の質の向上」の取組の一つとして、関東・近畿・中国で試行されているラーニングサポートセンター講習会（以下LSC講習会）を中心に報告いたします。

学会ニュース29号で報告しましたように、LSC講習会は、学会認定音楽療法士（補）資格取得者、学会認定音楽療法士資格更新前の方々を対象に、「音楽療法士の自立と仲間づくり」を目的とし、2015年から2年間、関東支部、近畿支部、中国支部で試行を開始しました。今年9月、第16回日本音楽療法学会学術大会（仙台）において、「音楽療法推進特別委員会—LSCの開催状況と今後の展望—」と題し自主シンポジウムを行いました。

以下に自主シンポジウムの報告をもとに、LSC講習会の開催状況と当委員会の今後の活動についてお知らせします。

関東支部は、2015年からLSC講習会を6回開催し、本年12月の第7回を最終回として試行を終了します。LSC講習会のプログラムを全回ピアスーパービジョン（以下PSV）とワークショップ（以下WS）としたこと、参加者数は20名～40名であったこと、そしてLSC講習会のプログラムのうちPSVの実施方法と成果を中心に報告されました。

近畿支部は2015年に、土曜日3回を1クールとしたAコースと日曜日3回を1クールとしたBコースの2コースをそれぞれ1クールずつ開催し、本年10月から12月まで1クール3回日曜コースを開催し試行を終了します。LSC講習会のプログラムは、事例作成・事例検討とミーティング・WSとしたこと、参加者数はそれぞれ12名と22名であったこと、そして事例作成の方法・事例検討の内容を中心にその成果が報告されました。また本年のLSC講習会のプログラムにはPSVを入れることが報告されました。

中国支部からは、これまで開催された2回のLSC講習会が報告されました。1回目は支部の対象者のニーズを知ることを目的として全体講演とその後の話し合い、2回目にはPSVとWSを行ったこと、参加者数は1回目12名、2回目6名であったこと、そして開催方法と成果が報告されました。3回目は10月に、PSVとWSをプログラムとして開催することも報告されました。

3支部に共通した成果は、対象人数を少人数にしたことにより、話し合いが無理なく行われ、特にPSVではそれぞれが持っている臨床上の悩みをPSVの枠に守られ、話し合うことによって、LSC講習会の目的である「自立と仲間づくり」につながったことが挙げられました。

検討課題としては、①運営資金面、参加者募集の方法について ②LSC講習会の対象者を学会認定音楽療法士（補）資格取得者、学会認定音楽療法士資格更新前の方々としていたが、LSC講習会を生涯専門教育として位置づけ、ベテラン音楽療法士も対象とすること、などが挙げられました。

指定討論者からは、PSV開催に当たっての準備、LSC運営の経費負担などについて、また会場からは、今後ご自身の在籍する県での開催の可能性についてなどの質問が出されました。

以上仙台大会での自主シンポジウム「LSC講習会の試行実施報告と今後の展開」の内容を基に当委員会の音楽療法士の質の向上を目的とした活動の一つであるLSC講習会の試行状況について報告いたしました。

今後当委員会では、このシンポジウムのまとめとLSC試行の総括を行い、その報告書の作成と「PSVの手引き書」の作成に取り組んでまいります。

次に、当委員会のもう一つの活動の柱、「音楽療法の普及・啓発活動」について以下に報告します。

1. 「音楽療法の紹介」資料は、学会HPにアップされ、ダウンロードが可能です。音楽療法を紹介する場合などにご使用ください。
2. 漫画「音楽療法のお仕事」、チラシ「音楽療法士になる」は、ご要望に応じて増刷を重ねております。HPからもダウンロードしていただけます。
3. 音楽療法パンフレットは現在作成中です。
4. 音楽療法市民講座の開催

6月26日、福島学園大学にて音楽療法市民講座「音楽療法の集い」を開催いたしました。定員100名のところ200名余の参加申し込みがあり、2クラスに分けて「音楽療法についての講演」と「音楽療法体験」をそれぞれ2回ずつ開催し、好評のうちを終了しました。来年は茨城県つくば市で行われる「世界音楽療法大会」での開催が計画されています。

以上音楽療法推進特別委員会の主な活動を報告いたしました。

引き続き会員の皆様からの率直なご意見、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

北海道支部 — 近況 —

支部長 安藤 妙子

北海道支部は、170名程の会員数ですが3月と8月にニューズレターを発行し、春・秋の年2回の講習会も変わりなく開催致しております。

今年度は、支部の評議員選挙があり新しい体制で運営致しております。

2016年度支部総会・第29回支部講習会も5月22日（日）札幌大谷大学“響流（こーる）ホール”において開催されました。お陰さまで盛会のうちに無事終えることが出来ました。開催に際しましてご協力を賜りました皆様に深く感謝申し上げます。

また、秋に行われる講習会は、10月30日（日）札幌大谷大学 4F 響流（こーる）ホールで開催を予定しております。

内容は、演題発表のあと教育講演では、お二人の先生を予定致しております。

最初に、中野茂先生（札幌国際大学教授・北海道医療大学名誉教授）には、「音楽性のPLAYとPLAYの楽」親と子の関係を育む、親と子の遊びの中に見る音楽性について、発達の視点からお話し頂きます。次に鈴木はるみ先生（北海道医療大学）には「音楽療法における多様なMUSIC MAKINGの再考」音楽療法における様々な音楽のあり様を、真に子どもが必要としている音楽という視点において臨床を通してお話いただいた後、お二人での対談を計画致しております。北海道支部会員のみならず他支部からの参加も歓迎致します。

問合せ先 支部事務局：〒065-8567 札幌市東区北16条東9丁目1-1
札幌大谷大学関谷研究室 TEL：011-742-1796
（詳細につきましては支部ホームページをご覧ください）



東北支部 — 近況 —

支部長 須佐 涼子

新理事長就任後初となりました、第16回日本音楽療法学会学術大会は、9月16日の講習会に続き、17日、18日と仙台市の国際センターにて開催されました。2011年の震災以来、初めての大きな大会のお引き受けとなり責任の重さと共に、遠く東北の地まで皆様足を運んでいただけたのか、正直不安もありました。大会案内後には各地より応援メッセージが届き事前申し込みは1400名を越え、当日参加も含めると3日間で延べ4500名余の方々に全国よりご参加いただきました。盛況のうちに大会を終えることができましたことに心より深く感謝申し上げます。

大会テーマを『「今ここで」音楽療法における関係性を考えよう～からだ・こころ、^{あなた}他者と「わたし」を見つめて～』と掲げ、大震災を経験した私たちが、今ここで、あらゆることを見つめ直し続けているなか、「関係性」をキーワードに「人とは」「音楽とは」について共に考えることと致しました。講習会、大会をひとつのテーマに添う流れに、各プログラム共とても意義深い内容であったと多くの声をいただきました。また実行委員、当日会員スタッフの対応へのお褒めの言葉も頂戴いたし、今後の活動の励みとなりました。

2年間に渡る準備に際しては、微力ながらこれからの音楽療法学会の発展、質の向上に寄与致すことを全実行委員が念頭に置き進めて参りました。その熱意は、研究発表・講習会・交流会等初企画への挑戦として大会全般に反映されることになりました。たいへん貴重な時間をいただきありがとうございました。

9月の全国大会を無事終え、続く10月には生野里花氏をお迎えいたし、第16回日本音楽療法学会東北支部学術大会を開催いたします。

大会テーマ「音楽療法における関係性を考えよう」～臨床の知をめぐって～
開催日 2016年10月30日（日） 10：30～16：15
場 所 仙台市市民活動サポートセンター 6F セミナーホール
（仙台市青葉区一番町四丁目1-3 TEL022-212-3010）
講 師 生野里花氏（東海大学非常勤講師、野花ひとと音楽研究舎主宰）

- ◆基調講演「かかわることと見つめること」～臨床の知をめぐって～：復習編
 - ◆講習会「かかわることと見つめること」～臨床の知をめぐって～：総括編
- 会員の皆様には、是非ご参加いただきますよう、どうぞよろしく願いいたします。

問い合わせ：東北支部事務局 〒020-0117 盛岡市緑が丘2丁目14-43 渡邊方
Email : jmta-tohoku@festa.ocn.ne.jp



関東支部 — 近況 —

事務局長 猪之良高明

1. 関東支部大会・講習会（茨城大会）開催について

第15回日本音楽療法学会関東支部 地方大会（茨城）が2017年2月26日（日）茨城県県民文化センターにおいて開催されます。「心の声に耳を傾けよう」を大会テーマに様々な企画で皆様をお迎えしたいと思います。

詳細については、関東支部ホームページに掲載されておりますのでご覧ください。また、関東支部会員のみならず他支部会員の参加も歓迎いたしますので、ぜひお越しください。

2. 講習会のお知らせ

関東支部では会員ニーズに応えるべく、関東支部大会・講習会以外にも様々な講習会を企画しております。①都県別講習会②支部研修講習会③ラーニングサポートセンター研修会（本部主催・支部委託）等々の開催を予定しております。支部以外の会員や一般の方も参加可能な研修もあります。

開催要項が変更になることもありますので、今後のニュースや支部ホームページでご確認ください。

2016年11月以後の研修予定

・都県別講習会（神奈川県）

日時 2016年11月20日（日）
会場 昭和音楽大学（予定）
内容 ワークショップ、症例検討（ナビゲーター付き）を企画中

・2016年度第6回支部研修講習会

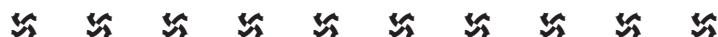
日時 2016年11月13日（日） 10：30～16：00
会場 日本福祉教育専門学校 高田校舎
内容 ①講演「記録を書く」 ②事例発表2題 ③総括、インフォメーション
講師 近藤靖子、関郁史、福井友子

・ラーニングサポートセンター研修（第7回）

日時 2016年12月11日（日） 10：00～16：30
会場 日本福祉教育専門学校 高田校舎
内容 ワークショップ、ピアスーパージョン

いずれの案内も、日程や会場が変更になる場合がありますので、詳細は関東支部ホームページをご確認ください。

関東支部ホームページ <http://www.jmta-kanto.jp/>



信越・北陸支部 — 近況 —

事務局長 丸山 敬子

信越・北陸支部では、平成28年6月19日（日）に第14回支部学術大会（大会テーマ「地域といきる音楽療法」）大会長 木戸日出喜氏）を富山県富山市の富山国際会議場において開催しました。「越中おわら節」や「こきりこ節」など多くの伝統芸能のある富山で、「音楽は地域に生きる人々と共にあるものであり、音楽療法も地域に根ざしたものである」との観点でプログラムが組まれた大会でした。

午前中はシンガーソングライター・作曲家・会社経営者として地元で活躍する高原 兄（タカハラ ケイ）氏により「こころが今日も笑顔」と題した明るい雰囲気での市民公開講座Ⅰが行われました。公開講座Ⅱは「富山県における音楽療法の現状と期待」と題し、大会長木戸日出喜氏により富山県での音楽療法が紹介されました。木戸氏は富山県音楽療法協会の会長、クリニック院長、介護老人保健施設長、その他富山県内で多くの役職を担う医師であり、内容は音楽療法の現状と課題、科学的根拠などの興味深いものでした。

午後は、支部総会を経て研究発表2題、シンポジウムが開催されました。シンポジウムは「地域コミュニティと音楽療法—その関係性を考える—」と題して各県の音楽療法の実態と問題点や課題を共有し、今後の音楽療法の発展を検討するという有意義な企画でした。

北陸新幹線もすっきり定着しましたが、支部内各県の交通アクセスは相変わらず不便です。広範囲に広がる支部だからこそ連携を意識した活動をしていきたいと考えております。また、団体登録されている研究会等は現在10団体で活発な研究・研修活動が行われております。来年の第15回支部学術大会は新潟県長岡市での開催予定となります。



東海支部 — 近況 —

事務局長 菅田 文子

新しい役員で始動して半年ほどが経ちました。今のところ順調に、それぞれの委員会から引き継ぎを受けて仕事をこなしています。

平成28年度の最も大きな行事である支部大会の日程が最終決定しました。東海支部大会は愛知、三重、静岡、岐阜の四県を回り持ちで担当しており、大会運営は担当する県の役員が中心となって行います。今年度の大会は平成29年3月18日に名古屋音楽大学にて行われます。東海支部大会は1日限りの開催ですが、総会、研修会、研究発表、基調講演と盛りだくさんに詰め込み、毎年200名ほどの参加があります。今年度は東海支部の中心、愛知県で行われるのでさらに多くの参加者数を期待しています。他支部からの参加や、さらには研究発表（査読あり）も可能です。他支部の方も東海支部会員と同じ費用で参加できます。詳細は現在検討中ですので、11月以降に東海支部 HP をごらんください。



近畿支部 — 近況 —

事務局長 佃 誉子

近畿支部では2017年3月4日（土）・5日（日）に大阪府茨木市にあります梅花女子大学にて、第15回近畿学術大会を開催します。この近畿学術大会の開催に向けて、大会実行委員会と支部講習会企画委員会により準備を進めています。4日は研究発表とラウンドテーブル、5日は講習会で8種類の講習が予定されています。ラウンドテーブルとは一つのテーマについて興味を持つ人々が小さな会場でじっくり語り合うという企画で、第10回近畿学術大会において初めて企画され、その後継続して実施されています。

会場の梅花女子大学は大阪北摂の環境の良い丘陵中央に位置し、とても自然豊かなキャンパスです。阪急茨木市駅・JR 茨木駅からスクールバスもご利用いただけます。他支部の方も歓迎いたしますので、どうぞご参加ください。事前申し込みも可能です。詳細は近畿支部ホームページをご覧ください（<http://www.jmtak.com/>）。

また、2002年より発行しています『近畿音楽療法学会誌』は、原著論文や事例研究、近畿学術大会の内容、近畿支部活動記録の他、上記ラウンドテーブルの報告記事も掲載しています。購読をご希望の方は近畿支部事務局（jmtak@guitar.ocn.ne.jp）、またはアカデミア・ミュージック株式会社（03-3813-6751）までお問い合わせください。

中国支部 — 近況 —

支部長 武田千代美

中国支部は、第16回中国支部大会、第23回支部主催講習会を、6月11日、12日の両日、山口県下関市 下関市生涯学習プラザにおいて開催しました。

第1日目の講習会には、至誠館大学 横山順一先生、ステップ音楽療育教室 松原まゆみ先生、医療法人テレサ会西川医院発達診療部 林隆先生をお迎えし、福祉、音楽療法、医学の分野からご講演をいただきました。

第2日目の支部大会は、「音・音楽の力とは」をテーマに講演、研究発表を企画し、宗像病院 精神科医の荒木志郎先生に「魔術としての音楽」「音楽における魔法」と題してご講演いただきました。

たいへんに貴重なお話を拝聴でき、有意義な2日間となりました。改めまして講師の先生方に感謝を申し上げます。

また、開催に際しましてご協力を賜りました関係各位に深く御礼申し上げます。ありがとうございました。

中国支部はラーニングサポートセンターのモデル事業に参加し、これまでに2回の講習会を開催しました。第3回講習会は10月16日にくらしき作陽大学にて開催いたします。支部ホームページで詳細をご確認ください。



四国支部 — 近況 —

事務局長 藤井 澄子

日本列島雨が続きますが、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

四国支部では4月より新体制となり、三崎めぐみを支部長として船出いたしました。

2018年秋には、JR高松駅に隣接した高松コンベンションセンターを会場として、全国大会をお引き受けしています。アクセスもよく、全国の皆様にお越しいただきたいと、香川県の会員を中心に現在準備を進めています。

今秋の支部学術大会は、2016年11月23日（祝）に愛媛県松山市聖カタリナ大学で開催します。ただ今参加申し込みの受付中です。秋の伊予路をお楽しみがてら、皆様のご参加をお待ちしています。申し込み等詳細はホームページをご覧ください。



九州・沖縄支部 — 近況 —

事務局 西林 淑子

九州・沖縄支部では今年度役員改選で、3月末の選挙結果を受け新役員体制を決定するという矢先の4月14日に熊本震災が勃発、以後3か月にわたり支部長不在ということで経過しましたが、その間も熊本地区の役員の奮起により講習会も滞りなく開催されました。

その後7月に以下のように新体制も整いましたので、今後も熊本地区の会員とともに齋藤考由新支部長のもと、支部を挙げて震災支援活動など協力して行く所存です。

九州・沖縄支部新役員：齋藤考由（支部長）、池田憲治（広報）、山下恵子（倫理）、和田玲子（教育・研修）、村橋和子（監事）、米倉裕子（監事）、小林真寿子、児玉典子、高江洲義英、西林淑子（事務局）

学会事務局からのお知らせ

■ 2016年度（補）資格試験を申請される方へ

2017年1月15日（日）に実施されます2016年度音楽療法士（補）資格試験の受験申請受付期間は、2016年11月16日（水）～11月30日（水）まで必着です。なお、試験の実施会場は東京会場（日本教育会館）1ヵ所のみです。（補）試験に関する詳細は、学会ニュース31号17ページをご確認ください。※一般コースから（補）資格試験を申請される方は、昨年度より「証明書現物返却用封筒」への切手貼付けは不要となっています。

■ 2016年度資格審査を申請される方へ

2016年度資格審査の申請（面接試験）期間や申請方法等につきましては、5ページをご覧ください。

■ 2016年度資格更新審査および猶予を申請された方へ

2016年10月31日（月）までに提出された更新および猶予申請の審査結果は2017年2月初旬までに通知されます。

■ 「団体総合保障保険」のご案内

音楽療法士の業務保険を同封のパンフレットのとおりにご案内します。保険については加入を希望される方はパンフレット綴じこみの「保険申込FAX連絡票」にて記載の期日までに事務局まで加入依頼書を請求してください。この保険は日本音楽療法学会会員専用として特別に設定したものです。加入者が少ない場合廃止となりますので奮ってご加入いただきますようお願いいたします。

なお、この保険についてのお問い合わせはTEL：044-200-9421のセントラル保険までお願いします。

■ 学会ホームページからの規則書閲覧について

学会ホームページより各規則書の抜粋版を閲覧いただくことができます。メニューより「ダウンロード」を選択し、規則書ファイル（PDF）をダウンロードしてご覧ください。

■ 「抄録の書き方」のご購入について

研修・講習委員会編纂による「抄録の書き方（わかりやすい学会発表をするために）」が発行されています。（B5版76ページ、2006年8月23日発行）購入を希望される方は17ページ「各種取り寄せ方法」をご覧ください。

■ 〈DVD「音楽のちから2012」～音楽療法が拓く可能性～〉のご購入について

15分間の音楽療法の啓発DVDが発売されています。購入を希望される方は17ページ「各種取り寄せ方法」をご覧ください。（一般の方に視聴していただくのに最適です。）

■ 映画「パーソナルソング」DVDご購入について

一昨年公開され話題となりました音楽療法関連の表記映画のDVDが発売されています。学会割引価格で頒布しますので、購入希望の方は17ページ「各種資料取り寄せ方法」をご覧くださいの上お取り寄せください。

頒布価格1枚3,000円（税込、送料込）。（定価4,104円、税込）

■ 学会誌バックナンバー、学術大会要旨集のご購入について

日本音楽療法学会、日本バイオミュージック学会および臨床音楽療法協会の学会誌バックナンバー、学術大会要旨集バックナンバー購入につきましては、学会事務局では取り扱っておりませんので下記へお問い合わせください。

〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-21 アカデミア・ミュージック株式会社
TEL：03-3813-6751 FAX：03-3818-4634

■ 第16回日本音楽療法学会学術大会 講習会資料集の購入について

2016年9月に宮城県仙台市でおこなわれました、第16回日本音楽療法学会学術大会の講習会資料集の購入を希望される方は、1,500円分の郵便為替（郵便局にて購入）を同封の上「第16回日本音楽療法学会学術大会 講習会資料集請求」として学会事務局までお申し込みください。なお、お送りいただく為替には「なまえ」など何も記入しないでください。返信用封筒は不要です。

■ 会費（年会費）納入のお願い

年会費は年度内にお納めいただきますようお願いいたします。昨2015年度分未納の方はそのまま放置されますと2017年3月末にて会費未納退会となります。この場合再入会はできません。

正会員 10,000円 学生会員 6,000円
購読会員 6,000円 賛助会員 50,000円／1口
払込先 郵便振替口座 加入者名：日本音楽療法学会
口座番号：00120-9-657711

■ 各種資料取り寄せ方法

各種資料のお取り寄せを希望される方は、郵便局にて料金分の定額為替をご購入いただき、希望資料の内容を明記した封筒（例、規則書一般コース請求）に同封の上、学会事務局までお送りください。その際、お送りいただく為替には「なまえ」など何も記入しないでください。返信用封筒は不要です。

資料		金額（送料込）
認定音楽療法士（補）問題解説集	2001～2015年度単年度版 ※希望年度を明記してください	各1,000円
	2001～2005年度、2006～2010年度、2011～2015年度 五カ年分合冊版 ※希望年度を明記してください	各2,000円
規則書	一般コース	500円
	面接試験	500円
	資格更新／資格更新規則細則	500円
その他	抄録の書き方	1,000円
	DVD「音楽のちから2012」～音楽療法が拓く可能性	1,000円
	DVD「パーソナルソング」	3,000円
	スーパービジョンの手引き	1,000円
	倫理ハンドブック	500円

■ 事務局への各種お届けについて

● 会員区分変更

現在学生会員の方で教育機関を卒業された方は、正会員への会員区分の変更が必要です。事務局まで文書にて区分変更の届出をお願いします。書式は自由です。正会員から学生会員へ変更を希望される場合は、学生証のコピーを添付の上、同様に事務局へ届け出てください。

※学生会員は認定申請ができないとともに、研究発表、論文発表もできません。ご注意ください。

※認定をお持ちの方、新認定制度をご受講中の方は正会員であることが必須のため、学生会員への変更はできません。

● 住所・名義変更

市町村の合併などを含め住所および連絡先に変更があった方は、事務局まで文書にて変更を届け出てください。書式は自由です。名義変更時も同様をお願いします。

※認定をお持ちの方はローマ字氏名も明記してください。

※その他事務局への各種お届け方法の詳細については日本音楽療法学会ホームページをご覧ください。

■ 各種証明書再発行手数料のお知らせ

学会の発行する各種証明書の再発行にはつぎの手数料がかかりますのでご了承ください。手数料分の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、希望の再発行内容を記載し学会事務局へお申し込みください。

- 音楽療法士（補）資格証明書、学会本部主催の講習会・学術大会証明書
手数料：500円

- 音楽療法士登録証明書、賞状
手数料：2,000円

※記載の住所や名義の変更も含まれます。

※3×4 cmの顔写真および、現在お持ちの登録証明書と賞状を同封し、学会事務局までお送りください。

※登録証明書のみ変更の場合も、登録証明書・賞状ともに変更の場合も、手数料は一律2,000円です。

※名義変更の場合は、お名前のローマ字氏名を必ず明記してください。

※1ヶ月程度お時間がかかりますのでご了承ください。

■ 音楽療法士求人情報提供のお願い

音楽療法士の求人情報を学会ホームページに掲載しています。有償で直接雇用のものに限定しますが、求人情報を事務局へお寄せください。掲載期間は3ヶ月です。なお、求人情報ページは情報を提供するだけのもので、就職の斡旋をするものではありません。

■ 音楽療法士（補）試験問題解説集 訂正

2015年度音楽療法士（補）問題解説集、問題解説集Ⅲ（合冊版）につぎの誤りがございましたので謹んで訂正いたします。

*2015年度 35問の回答 誤：正解（b）、正：（c）（単年度版24ページ、合冊版157ページ）

*2015年度 84問の回答 誤：正解（a）、正：（c）（単年度版30ページ、合冊版163ページ）

■ 第16回日本音楽療法学会学術大会要旨集 訂正

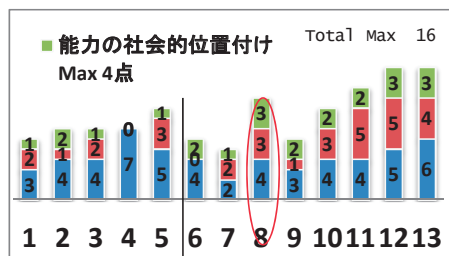
日本音楽療法学会学術大会要旨集につぎの誤りがございましたので謹んで訂正いたします。

・P.39 18-萩-003 松下純子 発表領域について 誤：自由高齢者 → 正：自由その他 ※事前案内の当該箇所も同様

・P.141 石川美保 抄録中段右側の図について

誤 正

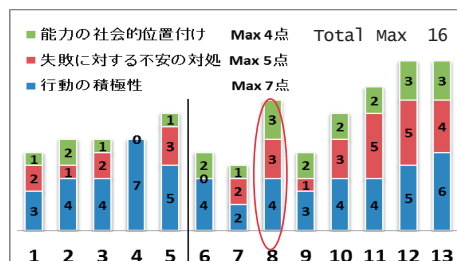
・A氏自己効力感尺度の結果



<沖縄音階>

<アラビア音階>

・A氏自己効力感尺度の結果



<沖縄音階>

<アラビア音階>

また、次について訂正いたします。

・P.117 青木久美 抄録【研究の目的】に記載の年度表記について

2～3行目：X年度→平成28年度、4行目：X-1年度→X年度、8行目：X-1年度→X年度、9行目：X年度→X+1年度

学会会則はニュース31号 p.28～をご覧ください。